

# 特集 小牧山歴史館 リニューアルオープン

問合先 小牧山課 (☎ 76・1623)

小牧市のシンボルである国指定史跡小牧山は、織田信長が自ら城を築き、小牧・長久手の合戦の際には織田信雄・徳川家康連合軍が陣城を築くなど、歴史的価値の高い場所です。この価値を発信していくことで、市民が誇りと愛着を持てる場となるよう、小牧山の史跡整備を進めています。また、市民や市外からの来訪者に、史跡小牧山の歴史的価値や魅力をより分かりやすく伝えることができるよう、山頂にある歴史館の展示改装を進めてきました。

改装を終えた「小牧山歴史館」が4月1日にリニューアルオープンしましたので、リニューアルした内容や整備の状況を皆さんにお伝えします。

## 小牧山歴史館（旧小牧市歴史館）

小牧市歴史館（現小牧山歴史館）は、名古屋市在住の実業家、平松茂氏（故人・小牧市名誉市民）が、私財を投じて建設し、昭和43年3月に小牧市に寄贈されたものです。建物の外観は、京都の西本願寺 飛雲閣を模しており、鉄筋コンクリート造、3層4階建てで、高さは19.3mです。

リニューアルした歴史館では、織田信長や徳川家康など、戦国時代の武将たちがなぜ小牧山を選んだのか、発掘調査の成果を踏まえ、地形や戦略などからその謎にせまります。

## 名称を変更

今回のリニューアルにあわせ、施設の名称を「小牧市歴史館」から「小牧山歴史館」へ変更しました。

名称を変更した理由は、展示改装と関係があります。

これまで「小牧市」の旧石器時代から近代までの郷土資料を紹介する展示を行ってきましたが、今回2階から4階にかけて戦国時代の「小牧山」の歴史について紹介する展示へと改めました。

それに伴い、名称を変更しました。



## 石垣を復元

史跡小牧山の山頂、歴史館の周囲の主郭地区の整備に向けて長年、発掘調査を実施しており、その成果を基に、令和3年度から令和7年度までの5年間、5つの工区に分けて整備工事を実施しています。

令和4年度までに、2つの工区の整備が終わり、現在、来訪した方には、北側と西側の復元した石垣をご覧ください。

石垣の背面の一部には、「裏込石記名イベント」で参加者がメッセージを記した裏込石を充填しています。



## 歴史館の 見どころ その一

### 映像で当時の 様子を紹介

信長がなぜ小牧山を選んだのか、また、小牧・長久手の合戦に至る経緯や合戦時の展開を3つの映像で紹介します。

#### ■ 2面スクリーンによる映像

- ① 信長と小牧山 (約5分)
- ② 小牧・長久手の合戦 (約8分)

#### ■ ミニシアター

- ① 小牧・長久手の合戦への道 (約4分)



## 歴史館の 見どころ その二

### 展望室からの 景色

床面の航空写真に、小牧・長久手の合戦で築かれた砦の位置などを示すことで、織田信雄・徳川家康連合軍と羽柴秀吉軍の距離感や戦略を体感できます。

また、展望室の外回廊に出て山頂からの景色を見渡すことができます。



## 利用案内

### 常設展示室 入場料

一般：200円、団体（30人以上）：100円  
18歳以下：無料  
※上記入場料で小牧山城史跡情報館（れきしるこまき）にも入場可

### 開館時間

9:00～16:30  
（常設展示室への入場は16:15まで）

### 休館日

第3木曜日・年末年始（12/29～1/3）

### 駐車場

小牧山北駐車場  
（100円/30分、最初の2時間は無料）  
バス専用駐車場（無料）  
市役所駐車場（無料）

### 所在地

〒485-0046 小牧市堀の内一丁目1番地  
TEL/FAX (0568) 72-0712

### 山頂まで送迎を行います

自力で山頂に登頂することが困難な方にも、石垣や歴史館をご覧いただけるよう、小牧山の南麓から山頂までワゴン車による送迎を月2回程度行います。

詳細が決まり次第、ホームページなどでお知らせします。

## 徳川義親像を移設

小牧山を市に寄贈した、尾張徳川家第19代当主、徳川義親氏の銅像が歴史館の南側に建てられていました。しかし、発掘調査の結果その場所が、織田信長築城当時の石垣の一部で



あった花崗岩の上に建てられていたことが判明したため、石垣の整備に合わせ、義親像を移設しました。

現在は小牧山歴史館1階でご覧いただけます。

